

れるが、その開発等について多くの課題が想定されるため、今後先進事例等について調査していききたい。③国、県の指導を受けながら調査していき

(農業振興課)

荒川通線に関する交通環境について

黒澤 三千夫 議員

問

①市は荒川通線の交通渋滞について認識しているのか②有料道路の無料化、久下橋、川島インターチェンジの開通などのインフラ整備による交通の影響があるのではないか、それぞれ伺いたい。

答

①荒川通線は朝、夕、休日に渋滞が発生している。周辺の交通環境の変化により、荒川通線をはじめ、市内の道路網に少なからず影響が生じているものと考えている。②現在、本市の道路整備について埼玉県とともに検討しているが、この中で環状道路網の構想として、(仮称)熊谷西環状線、(仮称)南部東西幹線、県道青山熊谷線、第二北大通線を位置づけしており、これら路線の整備により、市街地内への通過交通の流入抑制が図れるものと考えている。

(都市計画課) ○その他の質問項目 「情報伝達手段の充実について」

害鳥駆除について

常見 勝 議員

問

害鳥駆除の必要性についてどのように考えているか伺いたい。

答

害鳥駆除事業は、熊谷地区の一部、大里地区・妻沼地区の全域で実施しているが、実施地区および近隣の市民より苦情等が寄せられたことから、平成二十年度は事業を休止している。しかし、本年十月に妻沼地区でカラスによる農作物への被害があったとの苦情が寄せられた。そこで、害鳥駆除を実施していた地区の農業委員および自治会長から各地区の被害状況について聞いたところ、ドバトやムクドリによる被害もあるため害鳥駆除を実施してほしいとの要望があった。今後の実施について関係者等の意見も踏まえながら検討していき

たいと考えている。(農業振興課)

ヒートアイランド対策について

新井 正夫 議員

問

①今後、保水性舗装、保水性建材などの実施の考えはあるか②打ち水の効果の周知と呼びかけ③自然工ネルギーの導入④本庁舎の屋上緑化⑤総合的な考え方について、それぞれ伺いたい。

答

①施工箇所において製品の用途に応じ、特性を生かすことができれば採用を検討していく。②打ち水の効果を市民や市民活動団体等へ広報し、実施を促すとともに、市民活動団体が打ち水イベントなどを開催する場合には、活動の輪が広がるよう広報誌によるPRなど支援していきたい。③今後も国の動向に注視しながら、引き続きこれを推進し、その普及啓発に取り組んでいきたい。④来年度、壁面緑化の方法で、他の施設を参考にし、規模を拡大して実施していきたい。⑤今後も、熊谷にふさわしい事業を実施していく。(環境政策課)

○その他の質問項目 「総合窓口案内について」

漏水当番について

小林 甚一 議員

問

①平成二十年四月現在の本市指定給水装置工事事業者数②そのうちの管工事業協同組合加入業者数③平成十九年度の修繕件数と修繕費用④漏水修繕当番のサイクルおよび当番を辞退した組合員数と辞退理由⑤災害発生時の緊急対応体制は、それぞれ伺いたい。

答

①三百三十四社である。②六十二社である。③修繕件数および修繕費用は、それぞれ九百五十四件で約七千七百六十万円である。④順番は、管工事業協同組合にて組合員業者と調整して決定している。また、平成二十年度当初に辞退した組合員は七社で、辞退理由は、個々の組合員の都合によるものである。⑤「熊谷市水道部危機管理マニュアル」を現在策定中であり、その中で同組合等の地元専門業者の協力体制等を位置づけ、対応したい。(工務課)

○その他の質問項目 「公共工事積算について」

学校給食について

山田 忠之 議員

問

①調理業務の民間委託の考えは②搬送業務の契約方法③中国産食材の使用状況および安全性の確保は④給食センターの老朽化が進んでいるが、センター方式についてどのように考えていくのか、それぞれ伺いたい。

答

①現時点では委託化の考えはない。②随意契約により委託契約をしている。③本年一月の農薬混入事件以降、ゴマ、トウガラシなど一部の食材を除いて使用を取りやめている。また、学校給食衛生管理基準に基づき、細心の注意を払い業務を行っている。



熊谷学校給食センター